

# SUNSHINE BEACH HIGH SCHOOL

<学校の様子>



オーストラリアの東端で、その名の通り  
ビーチのすぐ横に位置しています。

## ○通学方法

多くの生徒がスクールバスを利用したり、親の送迎によって登校していました。中には、マウンテンバイクやスケートボードなど日本では見られない方法で通学している生徒もいました。



## ○学校の雰囲気



自由で明るい雰囲気があり、学年を越えて仲がいい生徒ばかりでした。みんなフレンドリーで私たちにも積極的に話しかけてくれたたくさん友達を作ることができました。





# SUNSHINE BEACH HIGH SCHOOL



## <授業の種類>

学校の生徒は、とても多い授業の中から 6 つ選択して授業を受けることが可能になっています。そのため、同じ授業でも受けている生徒の年齢はバラバラです。

・ 選択できる授業の種類

English 英語

Health and Physical Education 保健体育

Humanities and Social Science 人文社会科学

Industrial Technology and Design 産業技術デザイン

Information and Technologies 情報技術

Language 言語

Mathematics 数学

Science 理科

Technology 技術

The Arts 芸術

などなど

日本の数学の授業が A,B,I,II,IIIと分かれているように、オーストラリアでも多くの授業が分かれています。

## <授業の様子>

この学校では、生徒の九割九分が自分のノートパソコンを使っています。パソコンでメモを取ったり、図形を書いたり、レポートを書いたりしています。



## <日本の授業との雰囲気の違い>

とにかく自由。授業の始まりのチャイムは生徒も先生も厳格ではなかった。

先生の話を書くとき、おしゃべりが止まらないものもあったが、生徒は質問を頻繁にする。質問するときは皆、手を挙げるのだが、先生に当ててもらうまで挙げっぱなしで驚いた。

携帯電話禁止なのだが、先生の前でも使っていて、見つかったら注意されるが、言い訳してそれが認められることが多い。(日本の文化に触れたい、などといっていた。)

チャイムはブザーのようなもので、大きな音でわかりやすい。

70分授業で、休み時間も兼ねられていたので、授業の始まりが曖昧で、日本とは違って 授業の始まり、終わりの挨拶はない。

黒板ではなくホワイトボードで授業をしていた。

ほとんどの教室の天井にプロジェクターが付いている。

寝ている人が全くいない。(オーストラリア人は早寝早起きなので、その生活習慣が関係していると思われる。)

3/21 遠足 in EUMANDI MARKET & UNDERWATER WORLD



あまーいアイスを食べたのでお口直し  
で塩気の強いフライドポテトをたべま  
した!!! 美味しかった!!

生憎の雨でしたが、パンケーキや、ク  
レープを食べたり、民族音楽を聴いた  
りしました!!!!楽しかった!!!!!!







トラを見に行く移動中に迷い込んだパーク内にあった鳥か恐竜かわからないフォトスポットです!!!!!!!



カンガルーやワラビーと直接触れ合えるエリアでカンガルーに餌やり体験をしました!めっちゃ可愛かった!!!!

何この赤いやつ...





# HOMESTAY (1)



## Case.1

僕のホームステイ先は、ホストマザー、ホストファザー、19歳の息子の三人家族とドイツの留学生がいました。ホストファザーは、大工さんで毎朝早起きで仕事したり犬の散歩にいたりしていました。息子は、弟子大工でホストファザーと仕事にいて、仲いいなあと感じました。ドイツの留学生はすでに1年以上この家族と生活していました。これまでもジャマイカなどに滞在していたそうです。

朝は、シリアルやトーストを自分で用意して食べました。昼は、ホストマザーがランチボックスを用意してくれたり、休日には外食したりしました。



学校が終わると、ビーチに行ったり、家にあるプールで泳いだりしました。夜にはテレビで映画を見たり、日本のことを紹介したり有意義な時間を過ごせました。ホストマザーは、よく Are you happy? と僕たちを気遣ってくれて、リラックスすることができました。

## Case.2

私たちのホストファミリーは父 Jeff、母 Jackie、息子 Brody（高校生）、娘 Kobi(大学生)と Jazmin(小学生)の五人家族でした。Jeff は料理が上手で、みんなを包み込んでくれるおおらかで寛容な人でした。Jackie はお母さんの鑑のような人で、私たちを楽しませるためにたくさんのことをしてくれました。Brody はいつもすてきな笑顔で挨拶してくれました。Kobi はしっかり者のお姉さんで、私たちに気さくに話しかけてくれました。Jazmin は年下なのに私たちとずっと遊んでくれました。また、犬が2匹(Oscar と Stewie)と猫が1匹(Zoro)いました。みんなフレンドリーですぐになついてくれました。ビーチに犬の散歩をしに行ったことは楽しい思い出です。

いろいろな国のご飯を作ってくれたことが印象的でした。たとえば、ハンバーガー、モンゴリアンラムやチリコンカーン、ブリトーなどを食べさせてくれました。

また、Jackie が野生のカンガルーを私たちに見せようといくつかの場所を探してくれて、見ることができました。

この家族はすごくアクティブで、いろいろな所に連れて行ってくれました。今回のホームステイは週末を2回挟んだので多くの時間をファミリーと過ごせました。



### Case.3

私のホームステイ先の家庭は、お母さん、お父さん、13歳のお姉ちゃん、9歳の弟の4人家族で、猫を飼っていました。

朝は6時半に起き、自分たちでトーストなどを用意して食べました。日本に比べ朝はゆっくりしています。7時半に家を出て少し歩き、スクールバスで登校しました。

14時50分に学校が終わり、15時に出るスクールバスで下校しました。基本寄り道はしません。たまに弟のスイミングスクールなどに寄ってから帰りました。

家に帰ってからは毎日アフタヌーンティーがありました。紅茶や水を飲みながら果物やスナック菓子を食べました。アフタヌーンティーはリビングでテレビを見ながら行われ、その日学校であったことなどを話しながらしました。

その後は家事を手伝ったりこどもと遊んだりして夕食を待ちました。

18時過ぎから夕食を食べ始めます。食事中はテレビを付けない日が多く、その日あった出来事についてみんなで話しながら楽しみました。



夕食が終わると食器の後片付けをした後、リビングでアイスクリームを食べながらテレビを見てくつろぎました。

弟は 20 時ごろに寝るのですぐにシャワーを浴びに行きましたが私は 21 時ごろにシャワーを浴びに行きました。今年は雨がたくさん降ったので水不足ではなくシャワーの時間は決められていませんでしたが、だいたい 5 分で終わりました。

1 つの部屋に 2 つのベッドがあり私と、一緒にステイした友達はその部屋で寝ました。睡眠時間は約 8 時間と長いです。

日本でもオーストラリアでも平日にすることはあまり変わらず、全体的にゆったりとしていることが 1 番大きな違いだと思います。おおらかな人が多いオーストラリアはとても癒しになりました。



---

今回のホームステイで、積極性がとても重要だと感じました。最初は、なまりが強くてなにを言っているか分からずコミュニケーションが思うようにとれなくて、戸惑いました。でも慣れ

ると聞き取れるようになり、もっと話したいと思うようになりました。積極的に話しかけることでホストファミリーといい関係を築くことができ、さらに英語力を向上させることができました。

ホームステイにあたってのアドバイス

- ・お出かけに誘われたときは断らずに行く
- ・日本の水を持っていく
- ・日焼け止めは必需品
- ・服は多めに持っていく
- ・できるだけ身軽で

**HAVE FUN!!!!**

# ホームステイ (2)



起床時間は六時半から七時で、朝食はパンかシリアル、夕食はカレー、スパゲティなど海外風でした。



放課後は、テニスをしたり海に行ったりと、とても活発です。



夕食後はゲームやTV、映画鑑賞、会話、星空観察、ティーやコーヒー、子供たちとの遊び、デザートなどホストファミリーと多くの時間を過ごしました。



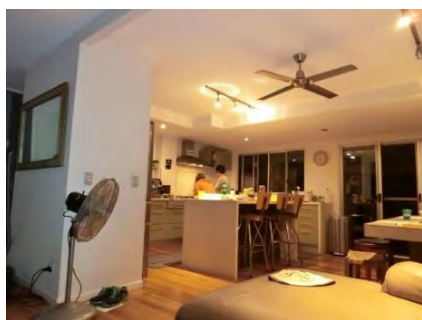
シャワーを浴びる時、なるべく短時間で（5分程度）、ということと言われることもあり、温水を使うときは水量に特に注意が必要です。



日本と比べて早めに寝ます。Good nightと言って、21:00~22:30にはホストファミリーは寝ます。



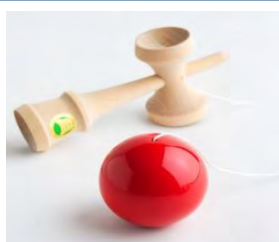




会話のスピードは速いです。ジェスチャーを使うとよかったです。



主に食器洗いやテーブルのセッティングを手伝いました。



お土産は一緒に遊ぶことのできるけん玉、折り紙などで、喜んでくれました。また暑い地域なので手ぬぐいや扇子などでも喜んでくれました。



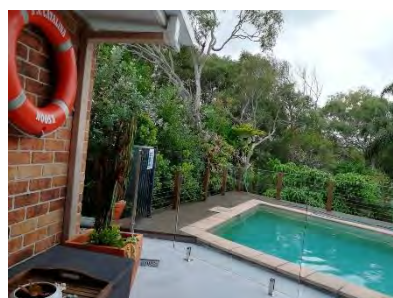
洗濯はホストファミリーに任せるところも多かったです。オーストラリアは水が貴重なので、ためてから洗濯するところもありました。



家のつくりは主に平屋建てでプールを持つ家もありました。



服装はとてもラフでTシャツに短パンがノーマルでした。



ホームステイ最終日の夜はホストファミリーに感謝の手紙を渡したり、家族全員で外食をして過ごしたりする人が多かったようです。また、ゲームや映画鑑賞をして最後まで楽しみステイを終えることができました。帰国日の朝はホストファミリーの全員とハグをしてお別れしてきたようです。互いに再会を誓い合いながら。

### ～ホームステイの感想～

- ・はじめは英語が聞き取れず大変だったが、ホストファミリーも真剣に私の話を聞いてくれ、何とか通じました。
- ・生きた英語を使用していると実感しました。言語が違ってやはり同じ人間で気持ちが通じ合うと思いました。
- ・英語も日に日にスラスラ単語を並べることができるようになりました。普段は気づかなかった日本の衣食住のすばらしさを実感しました。
- ・日本よりめちゃくちゃ星がきれいでリラックスできてストレス発散できました。大好きな第二の家族になりました！また絶対オーストラリアに戻ってホストファミリーに会う！
- ・飽きる事がなかったです。子供がゲームに誘ってくれたことでとても仲良くなりました。
- ・苦しいこともありましたが、ホストファミリーはとても優しく、楽しく充実したホームステイとなりました。

## ホームステイ先で

それぞれのホームステイ先で様々な経験をする事ができました。  
オーストラリアならではの経験は初めての事ばかりで、戸惑う事もたくさんありましたが、ホストファミリーの方が優しく話しかけてくれたおかげでどれもかけがえのないものとなりました。



ユーマンディーマーケット！蛇を首に巻いたり、アイスやドーナツを食べたり、広くて迷いそうになりました！！



Coolum beach!!!

展望台からの眺めは最高でした！



ホストファミリーのために日本食を作りました。喜んでくれたので良かったです



Gingerfactory に行きました。家族で楽しめる作りに鳴っていて、おもしろかったです。